



市木 クロマツ

市花 コバノミツバツツジ

発行 芦屋市役所(公聴広報課) ☎0797-31-2121
兵庫県芦屋市精道町7番6号 毎月1日・15日発行

広聴を生かした行政に

陳情・要望は市公聴広報課の窓口へ

昨年十二月、秋に行われた地区懇談会の報告書ができあがり、各町の広報委員や町内会の役員の方々に届けました。見ていただけましたでしょうか。

市は、見て歩く、聞いて歩く、そして話し合う広聴を生かした行政を進めています。地区懇談会の機会だけでなく、いつでも行政に対する苦情や陳情・要望を受け付けています。日常の細かな事柄でも、お気軽にご相談ください。

苦情の窓口は市生活文化課

苦情は、市民の皆さんが日常生活をする上で、不便をきたす問題を電話で直接に連絡することができます。苦情の受け付けは、市生活文化課が窓口になり、各所管に連絡し処理します。

陳情や要望は、まちづくりや行政の行為など特定の事項について、市民が市の適切な対処を要請するときに、文書で申し入れるものです。窓口は

してください。

マンシヨン建設 反対等52件受付

昭和六十三年年度の陳情・要望の一月末現在の受け付け件数は、五十二件です。その内訳は、マンシヨン建設反対・宅地造成反対十件、道路・駐車

市公聴広報課で、その処理や所管の考えをただし、市長の決裁をへて、市公聴広報課から陳情者に回答します。

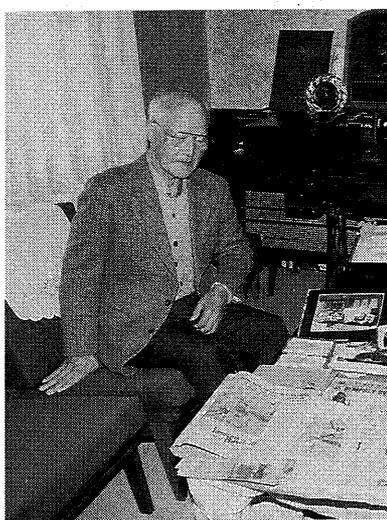
最近、手紙やはがきでの要望がありますが、せっかくのご意見・要望も住所・氏名が記入されていないと市の考え方を伝えることができません。郵送の場合は、なるべく住所・氏名を記入し

陳情・要望の窓口は、市公聴広報課(☎2121線22)へ。

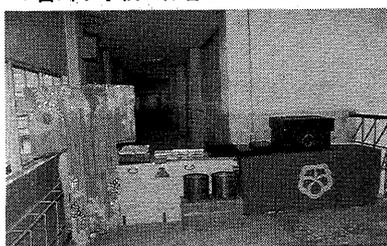
精道村時代の婚礼調度品

三条町・田中さん、約50点を市に寄贈

田中さんは、学生時代、東京六大学野球で「日本のベールブルース」と呼ばれ、六十年には、野球殿堂入りをしています。現



▲市に寄贈した田中勝雄さん
▼宮川小学校に保管される婚礼調度品



▲市に寄贈した田中勝雄さん
▼宮川小学校に保管される婚礼調度品

昨年12月芦屋市部長会が選んだ
昭和63年十大ニュースを紹介します

- ①谷崎潤一郎記念館の開館(文化振興財団の設立)
- ②市立芦屋病院の新外来棟の完成
- ③国際親善の推進(中国・肇慶市との相互訪問、米国・モンテペロ市親善学生交換25年、交換学生100人を達成、市立芦屋高等学校初のモンテペロ市親善訪問)
- ④上水道通水50周年式典の実施
- ⑤大東町市営住宅建て替えに着手
- ⑥緊急通報システムのスタートと特別養護老人ホームの誘致と建設
- ⑦第1回さくらまつりの開催(三大まつりのスタート)
- ⑧鳴尾御影線市内全域開通
- ⑨全国高等学校総合体育大会ヨット競技の開催
- ⑩芦屋市緑化協会の設立

困ったときは日常生活上で

なお、この外に、日常生活上起きるトラブルの相談窓口も開設しています。

商品のトラブルの場合は、市経済消費生活係(☎2121線22)へ。

隣近所の生活騒音などは、(☎2121線22)へ。

昭和63年十大ニュース

平成元年も明けて二月、毎年一月十五日号は発行しておりますので「見て歩き」久しぶりの気がします。本年も続けたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

さて昨年暮れ、部長級で構成する庁議で、昭和六十三年芦屋市の十大ニュースを諮りました。理由はいろいろありますが、一年の締めくくりとして振り返って、住民の負託に十分こたえ得たか虚心に反省をすることはもちろんですが、ねらいは部長級たるもの、直接



市長随想
康六の
見聞記
18

所管事務にとどまらず、行政全体の事務にかかわるの関心と理解があるかということ、市行政全般に建設的な意見が交わされ、部長会の活性化を期待する考えもありました。突然の提起でしたが、二十数項目の候補が求め、市役所の活性化を求め、日ごろハッパをかけてきた私にとって、部長会の気運は満足できるものでした。市行政に限定したニュースですから、ニュースバリューはありますが、日刊紙に掲載をさせていただき、別掲の十大ニュースの項目を見ただけならばご理解いただけますように、文化と国際性、緑豊

花とともに育つ

＝花と緑につつまれた学校園づくり＝



夢の国を思わせる小槌幼稚園の花壇

「花のコンクール」に入賞



全国・地区優秀賞
産経新聞社賞

小槌幼稚園



県教育長賞

山手小学校



県花壇センター賞

宮川小学校



県花壇センター賞

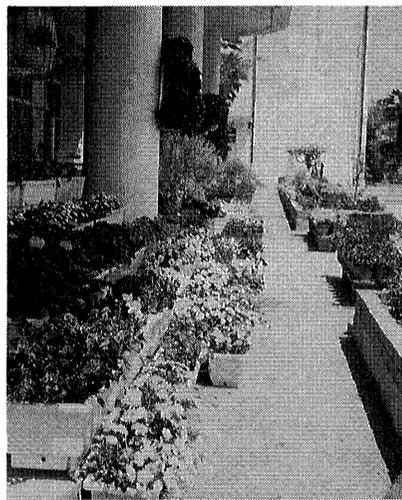
宮川幼稚園

「花と緑の学校園づくり」に励んで数年、すばらしい環境の学校や幼稚園がふえてきました。その成果として、今年も全国や県の花のコンクールに数多くの学校園が入賞しました。「花とともに育つ子供づくり」に励むようすを取材してみました。

子供たちが寄つてくる

花壇に苗を植える、ボールが飛びこむ、花壇が荒らされる、また植える……こんな子供たちとの根比べがしばらく続くと、ボール遊びの方向を

変え、花壇が傷まなくなってきた。そして、花の手入れをしていると「手伝います」と寄ってくる、そんな子が増えてきたというのが山手小学校。



山手小学校の100メートル花壇

花壇がつくる小さな世界

登校する子供たちと一緒に門をくぐるうち、随分殺風景なところから教室に向かっていることがわかりました。

同じ方向から、子供の目の高さで見ると、これは改善しないと感じ、このことがきっかけで校務員さんや先頭に、花壇づくりと大幅な木のせん定に取りかかりました。今では、花壇の緑も豊かです。

登校路からの花壇づくり

宮川小学校の場合は、

春、スマイレやチューリップの花の香りが漂う園庭のどこからか、先生と子供たちの楽しい話し声が聞こえてきました。

「このお花の名前知っていますか?」「……」「金魚草って言うのよ。ほら金魚のお口みたいでしょ!」「本当だ!」

「だ、から金魚草って言うのか!」どの子の顔も大

花や、やさいとふれあつて

「トマトの花は何色かな?」という先生の問いに、返ってきた子供の花と土とふれあひ生活を通して、育てたり世

トの花がくっきりとやきついた一瞬でした。花と土とふれあひ生活を通して、育てたり世

小槌幼稚園長 北野 順子

あいさつは心の言葉

— 一校門に看板を設置 —

「あいさつは心の言葉、お互いにかわす心と心の握手」とあります。中学校区青少年健全育成推進会議(中青健)が一月末に全小・中学校に啓発看板として設置したものです。



「中青健」とはすべの子供たちの健やかな成長を願って、学校と地域が一つになり、それぞれの力を寄せ合おうとして作られたものです。この会議に集う保護者や先生が、毎朝子供たちに「おはよう」とあいさつの言葉をかけ続けています。これを「あいさつ運動」と呼んでいます。心から自然にあいさつが交わされるようになることを念じながら今日も、「おはよう」の朝の一言で、元気な一日が始まります。

がんばる「花づくり先進校」

すばらしい花壇を作りながら、時期を逸して応募できなかった学校園、また、応募してん色が無いのに入賞を逸した学校園があります。

そんな中で芦屋のモデルとなつてきた「花づくり先進校」ががんばっています。何年もの間に培われた育苗の場所、花の種類による植え方の工夫は大変参考になります。

一人一鉢栽培も多くの学校で続けられています。ピート拾いに高学年全員で行く学校もあります。丹精こめた花々が、今暖かい春を待っています。

「ちょっとまて いじめはよくない そこの君」

三条小学校 三年 森 暁子さん
(「差別をなくそう県民運動」)の募集作品

このページは市教育委員会総務課(☎2121内線501)で編集しています。

この「広報あしや」を公演当日ご持参のうえご来場ください。前売券扱いとします。ご利用ください。

NEW YEAR コンサート

アランフェス協奏曲ほか

テレマン室内管弦楽団
ソリスト/樋口あゆ子(P)
稲垣 穂(G)

3月17日(金)

開演P.M.7:00
前売¥3,000
当日¥3,300

1月8日(日)午後2時から「ニューイヤークンサート」を3月17日(金)午後7時に変更いたしました。あしからず、ご了承ください。



阪神間主要P.G.、チケットセゾン、チケットぴあにて好評前売中!

清水邦夫=作・演出

関西公演

夢去りて、オルフェ

平幹二朗主演 木冬社公演
3月25日(土) 午後2時
午後6時30分
3月26日(日) 午後1時

全席指定 ¥4,000
前売券が売切れの場合、当日券はありません



お問い合わせ
ルナ・ホール協会
業平町8-24
(☎31-4962)